

各教科等年間指導計画

令和8年度

東京都立田無特別支援学校

3 年 組

グループ

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	3年	教科等名	国語
グループ名、人数	4グループ 8名		担当教員	◎阿部・三國・内藤	
ねらい	(1) 国語の知識や技能を身に付け、言語文化に親しむ。 (2) 関わりの中で伝え合う力を高め、思いや考えをまとめる力を養う。				
年間授業時数	70 単位時間	使用教科書	ひとりだちするための国語 (日本教育研究出版)		
月	単元 (題材) 名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
通年	読み書き 読書	通年 5	○平仮名、カタカナ、漢字の語句を読む・書く。 ▲手本を参考に、文字の形を整え、丁寧に書こうとすることができたか。 ○自分で本を選び、読む。 ▲読書を通して、興味・関心を広げることができたか。	・実態に応じて身近な言葉や語句を取り入れる。 ・ICT機器を活用し、課題の提示の仕方を工夫する。 ・ワークシートを用意し、読んだ本を紹介し合う活動を取り入れる。	
4	自己紹介	4	○自分について表現する。 ▲自分自身について考え、表現できたか。	・伝える内容や項目を提示する。	
5	作文	6	○体験を振り返り、言葉で表現する。 ▲体験を振り返ることができたか。	・資料や写真、映像などを提示する。	
6	短い文を読む	6	○短い文を読む。 ▲声の強弱や速さを工夫して読めたか。	・文の内容に合うイラストや写真などを提示する。	
7	本の紹介	6	○本を読み、紹介したい本を選ぶ。 ▲紹介したい本を選ぶことができたか。	・校内の図書室や図書コーナーを利用する。	
9	本の紹介POP作り	6	○おすすめの本の紹介POPを作る。 ▲題名や内容を書くことができたか。	・POPの作品例を提示する。	
10	物語を読む	7	○あらすじや登場人物を意識して読む。 ▲あらすじや登場人物が分かったか。	・登場人物を分担し、ロールプレイを行う。	
11	聞く・話す	6	○質問を聞き、相手に伝わるよう答える。 ▲伝わるように答えることができたか。	・話し方のポイントを視覚的に提示する。	
12	書写	6	○毛筆で書く、伝統文化に親しむ。 ▲形を捉えながら書くことができたか。	・基本的な筆の扱い方や持ち方を確認する。	
1	敬語	6	○丁寧な言葉で話したり書いたりする。 ▲場面や相手を考えて、丁寧な言葉で話したり書いたりすることができたか。	・職場などの場面を想定した会話のやりとりを行う。	
2	かるた	7	○よく聞いて、正しい札を取る。 ▲聞いた言葉に合ったカードを正しく選ぶことができたか。	・ルールを確認し、楽しく取り組めるようにする。	
3	作文	5	○お世話になった人々への感謝の気持ちを文章で表現する。 ▲自分なりの言葉で伝えたり、書いたりすることができたか。	・学校生活を振り返り、お世話になった人々をイメージできるような写真などを提示する。	

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	3年	教科等名	社会
グループ名、人数	4グループ 8名		担当教員	◎三國	
ねらい	(1) 自国や他国の伝統・文化について知る。 (2) 学習したことを生かし、社会に主体的に関わろうとする態度を養う。 (3) 社会参加するためのきまり等について理解する。				
年間授業時数	17 単位時間	使用教科書	なし		
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
4 5 6	日本や諸外国の地理、特色、暮らしについて	5	○日本や諸外国の気候や特色について調べたり、考えたりする。 ▲気候や特色の違いに気付くことができる。	・ワークシートや映像を用いて、気候や特色の違いを捉えられるようにする。	
	産業と生活	6	○我が国の農業や水産業における食糧生産 ▲日本の農業、水産業などの特産品を調べることができる。 ▲特産品が気候や地形によって異なっていることが理解できる。 ▲自分の手元に商品が届くまでの過程を調べ、理解できる。	・ICT 機器を活用できるように手順を掲示し、自発的に利用できるよう配慮する。 ・興味のある地域を選び、自発的に調べることができるようにする。	
7 9	暮らしの変化	3	○今と昔の生活の違い、豊かさについて考える。 ▲映像を見て、日本の暮らしの変化に関心をもつ。	・映像や画像を用いて興味関心も引き出す。	
	社会参加と決まり	3	○社会生活を営む上で大切な法やきまり ▲法やきまりがあることを理解できる。 ▲地域の人々と互いに協力することの大切さを理解できる。 ▲法やきまりを守ることが快適で安心な生活につながることを理解できる。	・写真や絵カードなどを見て、施設名や役割を調べることができるようにする。 ・身近なきまりを提示し、きまりを守ることが安全な生活ができることをイメージできるようにする。	

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	3年	教科等名	数学
グループ名、人数		4グループ 8名	担当教員	◎奈良本 (水)大野 (金)牧野	
ねらい		(1) 整数、少数、概数の意味と表し方や四則の関係について理解するとともに、計器を用いた測定の方法を身に付け、図形を作図したり、構成したりする技能を身に付ける。 (2) 身の回りの事象を、数や量に着目して捉え、単位を用いて的確に表現する力を身に付ける。数のまとまりに着目し、数の表し方の適用範囲を広げ、日常生活に生かす。計算に関して成り立つ性質や計算の方法を見出すとともに、日常生活に生かす。 (3) 数量に進んで関わり、数学的に表現・処理するとともに、数学で学んだことよさを理解し、そのことを生活や学習に活用しようとする。			
年間授業時数		70 単位時間	使用教科書	ひとりだちするための算数・数学（日本教育研究出版）	
月	単元（題材）名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
通 年	四則計算 電卓計算	通年	○基礎的な計算問題 ▲基礎的な四則計算に取り組み、正確な解答に近づいたか。 ▲電卓を正確に操作することができたか。	・プリントなど、段階に応じた課題を用いる。	
4 5 6 7	単位と測定	8	○日常生活に必要な単位 ▲生活に必要な「単位」について正しく理解している。	・ICT機器により、視覚的な教材を提示する。	
	カレンダー	8	○カレンダーの学習 ▲行事や休日を確認しながら、自分たちのスケジュールが分かる。	・具体物を用意し、生徒が単位を見比べられるようにする。	
	金銭計算	9	○合計金額やおつりの計算 ▲チラシなどから、必要な物を選び、購入計画を立てることができる。	・日常生活に関する身近な事柄を題材にする。	
9 10 11 12	データの活用	13	○表やグラフの読み取り ▲基礎的な表や棒グラフを読み取ったり、結果を見つけたりすることができる。	・成果が見えるように時間を記録する。 ・カラーチラシ等を使用し、楽しく行えるように工夫する。	
	時刻と時間	12	○生活に必要な時刻と時間の単位 ▲残り・経過時間など、簡単な時刻や時間を求めることができる。 ▲日、午前、午後、時、分、秒などの関係を理解する。	・毎朝の登校や待ち合わせ等、身近な題材を取り上げる。	
1 2	図形	15	○三角形や四角形 ▲基本的なそれぞれの平面図形の違いを理解している。 ▲身の回りの物の形を図形として捉えることができる。	・身近な具体物と図形を関連付ける“数学的活動”を取り入れる。	
3	まとめ	5	○1年間の学習の振り返り ▲この1年間で学んだことを、フィードバックし定着を図る。	・学習したプリントを再度行い、確認をしていく。	

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	3年	教科等名	理科
グループ名、人数	4グループ 8名		担当教員	◎野瀬	
ねらい	(1) 身近な生物や自然現象について、科学的な見方で捉える力を育む。 (2) 自然の仕組みについて理解を深め、その知識を主体的に生活に生かすことができる。 (3) 自然を愛する心情を養う。				
年間授業時数	18時間	使用教科書	なし		
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
4	気温と天気	4	○気温や自然の変化から季節の変化を知る。 ▲春・夏の特徴を知り理解を深めることができる。	・校庭の木々を観察し、生徒がイメージしやすいようにする。	
5	季節の生物と自然環境	5	○身近な季節の生物や植物の名前がわかる。 ▲学習した生物や自然環境の名称が言える。	・校庭の昆虫や植物を実際に見たり、視聴覚機器で見たりする。	
6	気温と天気	4	○気温や自然の変化から季節の変化を知る。 ▲秋・冬の特徴を知り理解を深めることができる。	・校庭の木々を観察し、生徒がイメージしやすいようにする。	
7 9	季節の生物と自然環境	5	○身近な季節の生物や植物の名前がわかる。 ▲学習した生物や自然環境の名称が言える。	・校庭の昆虫や植物を実際に見たり、視聴覚機器で見たりする。・実際の硬貨を使って興味をもって取り組めるようにする。	

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	3年	教科等名	音楽
グループ名、人数	3・4グループ 17名		担当教員	◎古室(月)高橋、牧野 (金)高橋、川上裕	
ねらい	(1) 創意工夫を生かした音楽表現の技能(歌唱、器楽、身体表現等)を身に付ける。 (2) 音楽の美しさや楽しさを感じることができる。 (3) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽によって生活を明るく豊かなものにする態度を養う。				
年間授業時数	70単位時間	使用教科書	くらしに役立つ音楽「東洋館出版社」		
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
通年	発声練習 鑑賞 共通教材 「早春賦」 「荒城の月」	通年	○姿勢や発声法を意識して歌う。 ▲音の高低、リズムの違いに気づき、発声をする。 ○我が国や諸外国の様々な音楽に触れ、独自の文化や多種多様性についての理解を深める。 ▲興味関心をもって、意欲的に鑑賞している。	・発声のしやすいリズムや旋律を伴奏や模範歌唱で提示する。 ・演奏に集中できるように環境を整え、視覚教材を用いる。	
4	鑑賞・歌唱 身体表現 季節の曲など	26	○曲想を感じ取って鑑賞や歌唱・身体表現できる。 ▲音楽を聴いて、曲想を感じ取って身体を動かそうとしている。 ○拍を意識して、太鼓をたたく。 ▲基礎的な奏法を覚え、大きな声で掛け声を言いながら演奏できる。	・発声しやすい歌詞を取上げ、手拍子などの身体表現とあわせて声を出す。 ・締め太鼓で下打ちを入れることで、リズムにのって演奏できるよう支援する。 ・正面で手本を示し、部分的に繰り返し支援する。	
5	器楽 「和太鼓」				
6	歌唱 「校歌」他				
7					
9	器楽 「合奏」	26	○有音程の楽器と合わせて、打楽器等も活用し合奏をする。 ▲合奏の楽しさや達成感を味わうことができる。 ○様々な国の音楽に触れ、様々な楽器や人の声に親しむ。 ▲曲想と音楽の構造を感じ取って聴くことができる ○リズムにのって模倣しながら歌ったり身体を動かしたりする。 ▲自分のパートの役割を意識しながら、表現することができる。	・教員が拍を示す。 ・教員が正面で手本を見せ、模倣できるようにする。 ・視聴覚機器を使用し、興味をもてるようにする。 ・表現しやすい曲や表現方法を提示する。	
10	鑑賞				
11	歌唱・身体表現 「文化祭の歌や表現活動」				
12					
1	歌唱・鑑賞 「卒業式の歌」	18	○旋律をのびやかに歌う。 ▲歌詞を覚えて、ハーモニーを感じながら仲間と声を合わせて歌うことができる。	・儀式にふさわしい姿勢を身に付ける。儀式で使用される音楽に触れることができるようにする。	
2	「国歌」				
3	「入退場の曲」				

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	3年	教科等名	美術
グループ名、人数	3・4グループ 17名		担当教員	◎牧野 保谷 高橋 奥山/野瀬	
ねらい	(1) 造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができるようにする。 (2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫などについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化などに対する見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。 (3) 楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく態度を養う。				
年間授業時数	70単位時間	使用教科書	美術資料 東京の美術 (秀学社)		
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
通年	鑑賞 アートスキルト レーニング	通年	○作品を生活の中で生かす。 ▲作品を介したコミュニケーションができる。 ○成功体験を積み重ね自信を高める。 ▲造形活動に対し自信を高めながら制作できる。 ○自他の作品の価値に気づく。 ▲個々の作品の違いや良さを見つけられる。	・制作を介して人と関わり、作品を生かせる場をつくる。 ・繰り返し行える活動にするなど、主体的に行えるように工夫する。	
4 5 6 7	オリエンテーション	4	○簡単な制作を通して主体的に活動に取り組み、授業のルールを知る。 ▲制作活動に興味・関心をもち活動意欲的に参加できる。	・成功体験を通し、活動に意欲的に迎えるようにする。	
9	ICT 機器を使った情報収集と利用	8	○ICT 機器を利用した情報の収集と共有と作品制作。 ▲好きな画像を収集できる。 ▲画像を活用できる。	・操作方法を動画などで分かりやすく提示する。 ・反復し技術習得できるようにする。	
	絵画制作	14	○キャンバスに描く。 ▲自分の興味関心のあるものごとをイメージして独自のデザインで表すことができる。 ▲描画方法を選択して制作できる。	・デザインや制作方法を選択しやすいよう、素材の提案をする。	
10 11 12	文化祭に向けた取り組み	14	○文化祭舞台道具を制作する。 ▲制作分担に従い、個々の力を発揮して取り組める。	・同学年の仲間と協力し、完成できることを意識できるようにする。	
	立体制作	14	○粘土や羊毛等を使った羊の制作。 ▲羊の各部所をイメージして制作できる。 ▲作品展示を意識しながら制作できる。	・制作工程をイメージできる動画などを提示する。	
1 2 3	卒業記念制作	16	○記念作品を作る。 ▲使うことを意識して制作できる。 ▲手順を理解して制作することができる。	・手順が分かりやすいよう、視覚教材を充実させる。	

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	3年	教科等名	保健体育
グループ名、人数	○3、4グループ 17名		担当教員	◎畠山 月（奥山、小幡、渡邊） 水（奥山、小幡、大野） 金（奥山、大石、川上）	
ねらい	(1) 運動を通して、運動技能を高めると共に、体力の向上を図る。 (2) 集団行動を通してルールを守り、友達と運動を楽しむ気持ちを養う。 (3) 体と心の知識を深め、卒業後も健康で安全な生活を送る気持ちを育てる。				
年間授業時数	105 単位時間	使用教科書	くらしに役立つ保健体育（東洋館出版社）		
月	単元（題材）名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
通年	体づくり運動 集団行動	通年	○集合・整列・体操 ○ヨガ ○体づくり運動 ▲内容が分かり行動できる。	・集合隊形の位置や向きや距離などに配慮する。	
4	陸上競技	11	○短距離走・リレー ▲目標タイムを設定し記録の向上を目指して練習ができる。	・目標や距離を明確にして取り組む	
5	体力テスト	8	○50m走 立ち幅跳び 握力など ▲自己の体力を知ることができる。	・目標を分かりやすく示す。	
6 7	保健 健康保持	2	○生活のリズム、栄養、睡眠 ▲健康的な生活を送るための方法を知る。	・知識と方法の定着ができるように、講義や実践を工夫する。	
	水泳	22	○泳法練習、水の特性の理解 ▲ルールを守り、安全に活動することができる。	・視覚教材を使ってルールを分かりやすくする。	
9	器械運動	12	○マット、跳び箱、平均台運動 ▲様々な体の使い方ができる。	・様々な道具で難易度を設定する。	
10 11	球技	15	○ワンベース ▲攻撃と守備で取り組むことが分かる。	・動きを単純にし、簡単な指示やジェスチャー等で伝える。	
12	球技	6	○バスケットボール ▲シュートやパス、簡単なゲームに取り組んでいる。	・内容を明確に示し、繰り返す。	
1 2 3	陸上競技	12	○長距離走、インターバル走 ▲自らの力で取り組み続けることができる。	・距離や時間を明確に示し、個々の走力に応じて設定する。	
	球技	12	○ワンベース ▲攻撃と守備で取り組むことが分かる。	・動きを単純にし、簡単な指示やジェスチャー等で伝える。	
	保健	2	○性教育 ▲人との適切な関わり方が分かる。	・ロールプレイで分かりやすく示す。	
	武道	3	○剣道、柔道、相撲、空手など ▲礼法や基本技の動きを模倣して動いている。	・映像教材などを活用する。	

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	3年	教科等名	職業
グループ名、人数	4グループ		9名	担当教員	◎川上、佐藤
ねらい	(1) 就労に必要なビジネスマナーとコミュニケーション能力を身に付ける。 (2) 就職活動や福祉サービス、生活設計に関する知識や技能を身につける。 (3) 自己理解を深め、将来設計を具体的にしていく。				
年間授業時数	35 単位時間	使用教科書	知的障害・発達障害の人たちのための見てわかる新・ビジネスマナー集		
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
通年	ビジネスマナーとコミュニケーション	通年	○挨拶、自己紹介○身だしなみの整え方 ○就労に必要な挨拶、報告、連絡、相談の仕方を身に付ける。 ▲挨拶や仕事に必要な報告・連絡・相談を自ら行うことができたか。	・繰り返しの取り組み、定着を図る。 ・適切な報告や相談のタイミングや伝え方を示し、実践を促す。	
4 5	オリエンテーション 現場実習事前学習	6	○職業の授業や進路行事を知る。 ▲ワークシート記入で見通しをもてたか。 ○実習生資料について ▲「自分の強み・苦手」を考えられたか。 ○日誌の作成 ▲目標、評価の記入の仕方を理解したか。	・ワークシートで卒業までの進路行事を示す。 ・「ICF」「リフレーミング」で自己理解を図る ・実際の日誌や評価表を活用する。	
6	福祉サービス	4	○進路先選択に必要な福祉事業所等についての情報(種類や仕事内容等)を知る。 ▲福祉事業所情報を知ることができたか。	・ICT機器、LLブックを活用し、福祉事業所情報などを見る。	
7	生活設計について①	2	○生活設計-相談・お金・暮らし-について相談できるところを知る。 ▲生活設計の相談先を学べたか。 ▲福祉課訪問の準備ができたか。	・ICTを活用し、福祉課等でできることを学ぶ。	
9	進路先選択	3	○進路先選択の条件について考える。 ▲選択の条件について考えられたか。	・マトリクスを使って、進路先選択してみる。	
10	生活設計について②～⑥	4	○生活設計-お金・暮らし- ▲給料・工賃の使い方を学べたか。 ▲グループホームや通勤寮、一人暮らし等について考えられたか。 ○生活設計-趣味・学び・楽しみ- ▲仲間の余暇や楽しみ、レジリエンスを知り、考えたか。	・ICTを活用し、情報収集する。 ・写真やビデオ等で様子を具体的にイメージできるようにする。 ・コピーングで「楽しみ」の情報を集める。 ・レジリエンスを知る。 (ゲストティーチャー活用)	
11	私の応援団	4	○相談支援事業所、就労支援センターについて学ぶ。 ▲卒業後の相談先を知ることができたか。	・ICT、資料などで相談先があることを学ぶ。 (ゲストティーチャー活用)	
12 1	私の将来設計	7	○将来設計(4つの四角)について考える。 ▲4つの領域をまとめられたか。	・これまでの学習内容をワークシートに入れ込み、将来設計をまとめる。	
2 3	「移行計画」をつくる	5	○これまでの学習をまとめ「移行計画」をつくる。 ▲学習内容を振り返り、「移行計画」にまとめられたか。	・これまでの学習内容をワークシートから、移行計画をつくる。	

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	3年	教科等名	家庭
グループ名、人数	3・4グループ 16名		担当教員	◎阿部・三國・敦賀・渡邊	
ねらい	(1) 家庭の機能についての理解を深め生活の自立に必要な家族・家庭・衣食住、消費や環境等についての基礎的な理解を図る (2) 生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を考える力を養う。 (3) よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し考える実践的な態度を養う。				
年間授業時数	70 単位時間	使用教科書	外食のカロリーガイド<改訂版>		
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
通年	身支度、準備、片付け、清掃	通年	○身支度、準備、片付け、清掃、ゴミ捨てをする。 ▲身支度や安全な道具の使い方、ゴミ捨てができる。	・準備、片付け、掃除の手順表を絵や写真で分かりやすく掲示する。	
4	リエンション 消費者生活	6	○被服室・調理室の使い方。 ▲ルールや安全な使い方を知る。 ○お金の種類を知る ▲物の値段が分かる。	・見本を示し具体的に伝える ・視聴覚機器を使用し、分かりやすく提示する。	
5	日用品の制作 「刺繍」	7	○刺繍の練習。 ▲丁寧に刺繍に取り組む。	・見本を示し具体的に伝える ・縫い方や縫う方向等、印をつけて示す。	
6	日用品の制作 「ランチトートバック」	8	○刺繍やステンシルの模様をつける。 ▲丁寧に刺繍やステンシルができる。	・実際に正しい方法を師範する。	
7		7	○手順にそってランチトートバックを作る。 ▲丁寧に刺繍やステンシルができる。	・縫う方向等、印をつけて示す。	
9		6	○手順にそってランチトートバックを作る。 ▲手順を確認しながらミシンで縫製できる。 ○ミシンを使って作品を作る。 ▲ミシンで直線縫いができる。	・実際に正しい方法を師範し手順を分かりやすく示す。 ・縫う方向等、印をつけて示す。	
10	日常食の調理	6	○レトルトや冷凍食品、電子レンジを使った料理をする。 ▲道具を安全に使って調理することができる。	・写真付き手順表や動画等を活用し分かりやすく提示する。	
11		6			
12	日常食の調理 「電子レンジを使った調理」 冷凍食品でつくるお弁当	6	○電子レンジの使い方を知る。 ▲電子レンジの安全な使い方ができる。	・動画等を通し、危険性について触れる。	
1		6			
2	衣服の手入れ 「アイロン掛け」	6	○ハンカチのアイロン掛け。 ▲安全にアイロン掛けができる。	・写真や動画を使用しアイロンがけの方法を提示する。	
3	消費生活・環境 「消費者の基本的な権利」	6	○購入方法や支払い方法の違い。 ▲いろいろな金銭の支払い方があることについて理解する。	・消費生活センターと連携して具体的な事例を挙げる。 ・教室内で買い物場面を設定し、金銭模型を用いて買い物の経験をする。	

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	3年	教科等名	特別活動（ホームルーム）
グループ名、人数	各学級 60名		担当教員	各学級担任	
ねらい	(1) 自分たちで考え、協力して行動する。 (2) 様々な活動を通して、社会のルールやマナーを理解する。 (3) 集団の中で自分の責任を果たしたり、問題解決の方法などを学んだりする。 (4) 交友関係を広げ、高校生活を楽しむ。				
年間授業時数	35 単位時間	使用教科書	なし		
月	単元（題材）名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点		指導の工夫
4	高等部の学校生活を楽しもう	3	○学年オリエンテーション （高3の授業や行事を知る） ○学級目標決め ○個人目標決め ○係活動決め ▲高3の授業や行事を理解する。 ▲お互いに協力して活動する。 ▲意見を述べたり選択したりする。		・視聴覚機器を使用したプレゼンテーションを用いるなど、それぞれの生徒の障害特性や発達の状況に合わせて理解が促せるよう、教材を工夫する。
5 ～ 3	学級で活動しよう	20	○学級活動（体育祭、現場実習、文化祭などの活動の理解と準備、反省） ▲活動に見通しをもつことができる。 ▲自分の意志や意見をもつ。 ▲お互いに協力して活動する。		・視聴覚教材を利用して活動内容の理解を促す。 ・選択肢を示し、意見や意思を表出しやすくする。 ・ICT機器を利用する。
9	防災について考え、防災訓練をしよう	2	○災害についてそれらに関連した事象について知り、防災に対する意識を高める。 ○避難訓練、消火訓練に参加する。 ▲避難経路を知り、消火訓練等の体験ができる。		・視聴覚教材を利用してイメージがもてるよう促す。 ・ICT機器を活用する。
7 12 3	学年集会をしよう	8	○学年集会についての話し合い ○学年集会の準備 ○学年集会の進行 ▲活動内容を考えることができる。 ▲意見を発表したり選択したりすることができる。 ▲自分の役割を果たす。		・お互いの意見を尊重しながらまとめることができるよう助言する。 ・参加が可能な活動になるよう促す。
3	3年生のまとめ	2	○学級目標や個人目標、係活動の反省 ▲自分について振り返り、他者の良い点に気付くことができる。		・行事や学習場面の写真や映像等を振り返り、自己評価、他者評価ができるよう促す。

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	3年	教科等名	日常生活の指導
グループ名、人数	S 類型 41名	担当教員	S 類型担任		
ねらい	(1) 身だしなみなどに配慮しながら身のこたを処理し、持ち物などを自己管理できる力を身に付ける。 (2) 挨拶や返事ができ、社会生活に必要なルールやマナーを身に付け、自立的な生活をするための能力と態度を育てる。 (3) 交友関係を広げ、高校生活を楽しむ。				
年間授業時数	175 単位時間	使用教科書	なし		
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
通年	挨拶 返事 身辺処理 着替え 衛生 健康管理 朝の会 帰りの会 日直 係活動	175	○挨拶や返事を自分から行う。 ▲自分から元気よく挨拶・返事ができる。 ○場面に応じた丁寧な言葉遣いができる。 ▲丁寧な言葉遣いや態度で人と接することができる ○食事のマナー、身辺処理、健康管理、身だしなみなど社会生活に必要な力を身に付ける。 ▲社会生活を送る上で基本的な力を身に付けられる。 ○自分の持ち物を管理する。 ▲持ち物を自分で管理できる ○うがいや手洗いなどの習慣を身に付ける。 ▲自分からうがいや手洗いを行うことができる。 ○日課帳を自分から所定の場所に出すことができる。 ▲日課帳を所定の場所に出すことができる。 ○一日の予定を知り見通しをもって生活できる。 ▲一日を日記記入や発言で振り返る。 ○翌日の予定を日課帳に記入したり確認することで心構えを作る。 ▲翌日の予定を把握できる ○日直の流れを理解して進めることができる。 ▲日直の流れを理解している。 ○自分のやりたいことを選び、進んで取り組む。最後までやり通す力を身につける。 ▲自分の係を自覚し、継続してできる。	・教員が模範となる。 ・要所で言葉掛けを行い身に付ける。 ・継続して指導する。 ・場所を固定し動線を分かりやすくする。 ・個々の力に応じた言葉掛けに努める。 ・定着するよう、継続して取り組む。 ・係の仕事内容を具体的に示し、取り組むべき時に言葉掛けをする。	

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	3年	教科等名	生活単元学習
グループ名、人数	S・O類型 57名		担当教員	B, C, D, E, F, G, H, I 組担任	
ねらい	(1) 社会人になるための準備として様々なことを経験する。 (2) 行事の内容を知り、意欲や目標をもって主体的に活動する。 (3) 季節行事に係る活動を通し、日本や外国の文化に触れる。				
年間授業時数	35 単位時間	使用教科書			
月	単元名 (題材)	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
4	3年生になって	2	○授業内容や行事について知る。 ▲説明にそって必要事項を記入する。	・各自のしおりに記入する。	
5	体育祭を成功させよう	2	○体育祭の事前・事後学習 ▲内容に見通しをもって活動できる。 ▲友達と協力して活動できる。	・体育の学習と関連をもたせて指導する。	
5 6 7	世界の国を知ろう	7	○外国の行事や文化に触れる (ALTによる学習) ○ALTの母国であるアイルランドの文化や言語などについて学び、国際社会への理解と関心を高める。 ○アイルランドを含む5か国を選び、国旗や言語、食文化、日本とのつながりを調べる。 ▲外国人講師と交流する。 ▲国名と国旗を一致できる。	・興味関心のある題材をとりあげる。 ・家庭と連携する。 ・ICT機器を用いる。 ・図書教材を利用する。	
9 10	現場実習を成功させよう	8	○現場実習先の名称、場所、内容を知る ○実習先での言葉遣いや態度、マナーなどを学ぶ ▲自分のできたことや課題を理解し、今後の学校生活に活かす。	・事後学習で本人と成果や課題を明らかにし、家庭と連携する。 ・ICT機器を用いる。	
11 12	文化祭を成功させよう	7	○文化祭事前・事後学習 ○劇において演技や台詞で表現する。 ▲自分の役を意識し、表現する。 ▲友達と協力して作り上げる喜びや、達成感を味わう。	・得意なことを活かした活動に取り組む。 ・皆で協力してひとつのものを作り上げることの意義を説明する。	
1 2	校外学習に行こう	5	○活動場所や内容を知る。 ○係活動に協力して取り組む。 ▲自分の役割を理解し、主体的に活動する。	・視覚教材で活動場所や内容を理解する。 ・ICT機器を用いる。 ・図書教材を利用する。	
3	社会人になる準備をしよう。	4	○3年生を送る会 ○卒業式事前練習 ▲卒業という節目を意識する。 ▲感謝の気持ちと新たな出発を決意する。	・門出のことばや歌の練習を繰り返し行い、自信をもって臨めるように支援する。	

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	3年	教科等名	総合的な探究の時間
グループ名、人数	60名		担当教員	3年生教員	
ねらい	(1) 実社会や実生活と自己との関わりから自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。 (2) 探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。				
年間授業時数	35単位時間	使用教科書	なし		
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
4	オリエンテーション	3	○活動内容を知り、学習する課題を決めるきっかけとする。	・活動紹介スライドを写し、簡単に説明した後、希望アンケートをとる。	
5	以下の5グループに分かれて選択活動を行う。 ・情報 ・日本と世界 ・スポーツ ・芸術(音楽) ・芸術(美術)	4	【すべてのグループ】 ・ジャンル、歴史、今注目の種目や分野等について課題をもち、調べたりまとめたりし、発表する。	・生徒の主体的な活動を設定するよう工夫する。	
6		4	・生活に必要な身近な情報を調べる。 ・自然や日常生活をテーマに情報機器を使用して、動画など制作物にまとめる。	・情報を収集・整理するなどの学習活動を主体的に行えるよう、テーマ、教材等を工夫する。	
7		3			
9		3	・日本や世界の文化、地域のお祭りや伝統の遊びなどを調べる。体験する。	・体験活動・調査・研究、発表などを取り入れる。	
10		4	・ボールを使ったさまざまな集団スポーツ、各種トレーニング、ボッチャ交流会など		
11		4	・美術や音楽などの芸術作品について調べる、表現する	・活動のイメージがもてるよう、視聴覚機器を活用する。	
12		3		・自分の作品を紹介したり、友達の良い作品の良さを感じ取って感想を発表したりする場を設定する。	
1		3	▲課題解決のために調べたり体験をしたりし、実際に活動した感想を発表することができたか。		
2		3	▲問題意識あるいは興味・関心を持ち、情報を整理し、発表することができたか。		
3		1	▲友達と協力して調べ学習や発表に取り組むことができたか。		

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	3年	教科等名	作業学習（エコワーク）
グループ名、人数	エコワーク班13名		担当教員	◎川上、高橋、大石、保谷、三國、渡邊、横井、大野	
ねらい	(1) 素材、道具・機械、工程・手順についての知識、理解を高め、基本的な技能（手・指・身体を使い方等）を高める。 (2) 職業生活に必要な返事・報告等を必要に応じて活用できる力を身に付ける。 (3) 働くことの喜び、厳しさを体験することを通して、労働に対する意欲を高め、仲間と協力できる適切な人間関係を育む。				
年間授業時数	245 単位時間	使用教科書	なし		
月	単元（題材）名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
通年	出席確認 挨拶、返事、報告 体操 準備、片付け、清掃、 報告会	通年	○出席確認、挨拶、返事、報告、体操、準備、片付け、清掃 ▲名前を呼ばれたことを意識して、返事や挨拶をすることができる。 ▲自分のできる表出方法で、返事や報告ができる。 ▲自分の役割を知り、教師の言葉がけや支援のもと、自ら取り組むことができる。	・写真と名前カードのマッチングで、わかりやすい表示ボードなどを利用する。 ・言葉の表出が難しい場合は、VOCA 機器を利用する。 ・イラストや写真カードを用いる。 ・作業日誌は視覚支援を取り入れる。	
4 ～ 3 月	紙工作業	245	○紙工作業（マグネットなどの製品作り） ▲ラミネートはがし、紙干し、紙ちぎりの工程に継続して取り組む。 ▲シュレッダーがけ、紙折機の操作、ハサミや裁断機の使用など、手指の使い方を覚え道具を操作して作業ができる。 ▲ミキサーによるパルプ液作り、型詰め・型押しなど、自分で道具を操作して作業ができる。	・生徒の実態や興味・関心に応じて、内容や工程を選んで取り組む。生徒の取り組みやすい活動があれば、適宜取り入れる。 ・生徒の実態に合わせ、ラミネートはがしのきっかけや紙の切り込み等の支援をする。 ・生徒の実態やその日の体調等に合わせ、作業の量や時間、行程内容を調整する。	
通年	現場実習		○福祉事業所等の現場で働くことを体験する。 ▲事業所の職員や利用者と一緒に、作業や活動に取り組む。 ▲挨拶・報告ができる。	・慣れない場所での実習に見通しをもてるよう、生徒の実態に応じて説明や支援を行う。	

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部		高等部	学年	3年	教科等名	作業学習
グループ名、人数		クラフト班9名		担当教員	◎牧野 奈良本	岸 小幡/矢島
ねらい		(1) 素材、道具、工程・手順についての知識、理解を高め、基本的な技能高める。 (2) 職業生活に必要な返事・報告・相談を必要に応じて活用できる力を身に付ける。 (3) 労働に対する意欲を高め、仲間と協力できる適切な人間関係を育む。				
年間授業時数		245 単位時間	使用教科書			なし
月	単元名 (題材)	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点			指導の工夫
通年	職業生活	通年	○作業の準備と片付け ▲準備、片付け、清掃ができる。 ○報告・連絡・相談の練習 ▲「できました」「確認お願いします」等 が言える。			・必要な用具や材料の写真カードを使用する。 ・報告の台詞を言う練習時間を設ける。
4 5	オリエンテーション	15	○作業学習のねらいを知る。 ○作業学習の心構えを理解する。 ▲ねらいや心がまえ、手順、作業工程を理解できる。			・繰り返し言葉で伝える。 ・視覚的に分かりやすく示す。
	現場実習について	15	○現場実習のねらいを知る。 ▲ねらいを知り心構えをする。			
6 7 9 10 11 12 1 2	クラフト作業販売	200	【木工作业】 ○材料の加工と切断 ○組立、整形、塗装、仕上げ 【革工作业】 ○革の染色 【紙工作业】 ○紙の切断と張り子作り ▲作業内容、工程を理解し自分から意欲的に作業できる。 ▲挨拶・報告・連絡・相談・質問をきちんと行う事ができる。 ▲道具を適切に扱い、仲間と協力して効率よく作業する事ができる。 ▲一定時間集中して作業する事ができる。 ▲作業スピードを意識して正確に作業する事ができる。			・視覚的にわかりやすく示す。 ・毎時間の作業量や目標を明確にする。 ・補助具を工夫・活用し、生徒が自分で作業を行えるようにする。 ・毎時間、ねらいの確認と作業の評価を行い、作業日誌に残す。 ・販売予定数や売り上げ数などを明確に数字で示し、作業意欲や態度の向上、効率的な製作につなげる。
	現場実習		○現場実習において1～2週間働くことを体験する。 ▲指示どおりに仕事に取り組むことができる。 ▲挨拶・報告・相談ができる。	・実習日誌を活用して、事前に見通しをもてるようにする。		
3	作業学習のまとめ	15	○自己評価と課題の整理 ▲挨拶、報告、連絡、相談、質問、指示された事を守り作業を行うことができる。 ▲時間を守り、準備や片付けを積極的に行うことができる。 ▲就労に適した態度・言葉遣いが意識できる。			・視覚的に分かりやすく示す。 ・ワークシート等を活用する。

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	3年	教科等名	作業学習
グループ名、人数	農園芸班 11名		担当教員	◎村上、野瀬、内藤、佐藤、菅原	
ねらい	(1) 素材、道具・機械、工程・手順についての知識、理解を高め、基本的な技能(手・指・身体の使い方等)を高める。 (2) 職業生活に必要な返事・報告・相談等を必要に応じて活用できる力を身に付ける。 (3) 働くことの喜び、厳しさを体験することを通して、労働に対する意欲を高め、仲間と協力できる適切な人間関係を育む。				
年間授業時数	245 単位時間	使用教科書	なし		
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
通年	職業生活	通年	○挨拶 ○作業準備と片付け ▲適切な挨拶ができる。 ▲身だしなみが整えられる。 ▲片付けや清掃ができる。	・視覚教材を用い具体物を見せる。	
4	オリエンテーション	5	○作業班メンバーについて ○作業内容と作業計画について ▲作業班のメンバーがわかる。 ▲作業内容がわかる。	・写真や動画、具体物を使って分かりやすく説明する。	
5 6 7 9 10 11 12 1 2 3	農業の生物の栽培と管理 ・野菜の栽培 馬鈴薯、ナス、トマト、蚕豆、ピーマン等 秋冬野菜の栽培 大根、蕪、ブロッコリー、白菜等 ・草花栽培、マリーゴールド、パンジー、ビオラ等、バジル等、ハーブ類 ・野菜の販売準備及び販売	240	○畝づくり ▲スコップでの土おこしができる。 ▲鍬等を使った畝作りができる。 ▲耕運機の操作ができる。 ○苗植え ▲マルチ張りができる。 ▲穴開けができる。 ○土作り ▲土運びができる。 ▲土混ぜができる。 ○農作物の管理 ▲水やりができる。 ▲除草ができる。 ○収穫 ▲教員に指示された作物をはさみで収穫できる。 ○販売 ▲笑顔で販売、接客ができる。 ○種まき、苗作り ▲教員に指示された場所に種や苗を植えることができる。	・必要に応じて倒れないように身体を支える。 ・補助具を使い畝などがまっすぐになるようにする。 ・畝の幅や長さが整うように視覚的に支援する。 ・等間隔に穴が開くようゆっくり行なわせる。 ・先頭の者が目的地の把握や、後方に気配りを行うことを意識付ける。 ・活動の前と後に畑や作物の確認を一緒に行い変化に気づけるようにする。 ・模範で野菜の切断方法や持ち方などを示す。 ・ロールプレイを行う。 ・補助具を使用して正確に植えられるようにする。	
通年	現場実習		○福祉事業所等の現場で働くことを体験する。 ▲事業所の利用者と一緒に、作業や活動に取り組む。	・慣れない場所での実習に見通しをもてるよう、生徒の実態に応じて説明や支援を行う。	

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	3年	教科等名	作業学習
グループ名、人数	食品加工班 9名		担当教員	◎敦賀 阿部	
ねらい	(1) 素材、道具、工程・手順についての知識、理解を高め、基本的な技能を高める。 (2) 職業生活に必要な返事・報告・相談を必要に応じて活用できる力を身に付ける。 (3) 労働に対する意欲を高め、仲間と協力できる適切な人間関係を育む。				
年間授業時数	245 単位時間	使用教科書	なし		
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
通年	職業生活	通年	○衛生・挨拶 ▲適切な挨拶ができる。 ▲身だしなみが整えられる。 ○作業の準備と片付け ▲準備、片付け、清掃ができる。 ○報告・連絡・相談 ▲「できました」「確認お願いします」等が言える。	・身だしなみチェックを作成する。 ・身支度の手順をカードや写真で示す。 ・必要な用具や材料の写真カードを使用する。 ・報告の台詞を言う練習時間を設ける。	
4	オリエンテーション	18	○作業内容と調理工程 ▲作業内容や調理工程を理解して実践できる。 ○テーブル拭き ▲清掃検定の拭き方ができる。	・写真や動画を使用し手説明する。 ・繰り返しの取り組みで定着を促す。	
5 6 7	調理 (製品作り) ・各種パン作り ・各種製菓作り ・販売	68	○計量の準備 ▲スケールやタッパー、材料を自主的に準備できる。 ○計量 ▲正確に計量ができる。 ○分割・丸め ▲道具を使って生地を計り分けることができる。	・必要な用具や材料の写真カードを示す。 ・計量マニュアルを作成し、確認と報告をしながら作業をする。 ・正確に計量できるように確認と報告を促す。 ・大体の量を視覚的に分かるように提示する。	
9 10	事務 ・領収書 ・カード ・販売 POP 作り ・シール貼り等	57	○紙袋作り、紙箱作りなど ▲自分の分担作業を順序通りに取り組む。 ○ラベル貼り ▲まっすぐにラベルが貼れる。	・作業工程を分業化し、得意な場所に配置する。 ・ラベル貼りの補助具を活用する。	
11	文化祭準備 ポスター作製 看板づくり	28	○ポスター作製・看板づくり ▲文化祭に向けて、イメージを固め、集中して取り組む。	・ICT を活用し、文化祭ポスターを作成する。	
12 1 2	調理 (製品作り) ・各種パン作り ・各種製菓作り ・販売	65	○成型 ▲パンの種類に応じた成型ができる。 ○袋詰め ▲衛生に配慮してパンを袋に入れることができる。 ○販売、金銭のやりとり ▲接客用語を言うことができる。 ▲釣銭のパターンを覚える。 ○工程表の見方を覚え、自ら仕事に取りかかることができる。 ▲工程表の見方がわかる。	・成型ができる補助具を準備する。写真レシピを作成する。 ・パンに応じた袋の大きさを用意する。 ・接客用語が身に付くよう繰り返し練習をする。 ・お釣り表を作成する。 ・ホワイトボードに各自の仕事の仕事をわかりやすく表示する。	
3	職業生活 1年間のまとめ	9	○作業学習のねらいや心構えを意識して作業ができたか振り返り自己評価する。 ▲自己評価と課題整理ができる。	・良かったところを褒めて就労への意欲につなげる。	